

資料 2（協議後修正）

●アンケートや保護者説明会をもとにした、これまでのご意見まとめ
(意見整理表)

黒字は、今回のアンケートで出た意見
赤字〔〕は事務局からの補足
青字は、今回のアンケート以外で既出の意見

	菊間小学校に対する意見	亀岡小学校に対する意見	教育委員会で整理した論点
立地	1 菊間町内にある - 菊間町内に小学校を置くことができる。 (地域の生活拠点として学校があることが望ましい) 2 菊間支所に近い これまでのご意見 - 地域活性化の拠点として、利便性がよい。 - 町の中心地である。 3 菊間中学校に近い メリット - 小中連携事業（合同行事など）が行いやすい。 4 JRの駅に近い これまでのご意見 - JRを活用した通学ができる。	1 菊間町内にある - 菊間町内に小学校を置くことができる。 (地域の生活拠点として学校があることが望ましい) 2 保育所が近くにある これまでのご意見 - 合同避難訓練ができる。 - 保育所との交流活動がしやすい。 - 保育所の子どもたちが日常的に小学生や小学校を見ることで、将来の進学をイメージでき、入学への期待や安心につながる。 - 登下校中など、近接した場所に知っている場所、知っている大人、兄弟姉妹がいるという安心感がある。 3 菊間、亀岡両地区に学校が残る これまでのご意見 - 小学校を亀岡地区、中学校を菊間地区に置くことで、地域全体が子どものふるさととなる。様々な地域や団体とふれあい、菊間全体へ郷土愛が育つ。 - 小学校と中学校で周辺環境を変えることで子どもたちの心機一転になる。 4 JRの駅に近い これまでのご意見 - JRを活用した通学ができる。 - 公共交通機関や国道からの距離等を考えると亀岡小学校の校舎を活用する方がいいのではないか。 - 校区外学習でJRを使用しやすい。（亀P保護者アンケート）	①今後も保育所と合同訓練を続けるのか？ ↓ これまでのご意見 ●災害時の連携や非常時の役割分担、避難経路の確認がしやすくなる。普段のつながりが非常時の安心につながる。 ●小中隣接ではなく小保隣接の大切さを検討してほしい。 〔統合後も各施設で避難訓練は行って参ります。〕 ②JR通学の安全性をどう考えるか？ ↓ メリット：バス台数の不足に対応できる。 これまでのご意見 ●無人駅でホームの安全性も低く（ホームドア無し等）、低学年での利用には心配がある。どちらの学校に統合されても、バスをしっかりと確保してほしい。 ●JRの利用も検討してほしい。 ●安全な設備整備をJRに掛け合うなど、安全にJRを利用する方法を検討してはどうか。 〔JR、バス等、可能な方法を検討して参ります。駅での旗当番を設定するという案も考えられます。〕
運営	1 少子化傾向であるが、学校の魅力化を進めることで他地域からの呼び込みを行い、学校存続を図っていく。 2 学校運営に対する地域の方々の協力体制について、亀岡地区コミュニティを参考に菊間地区で再編を行い、地域と一体になった学校を整えることで、児童や保護者、教職員の負担を軽減し、持続可能な学校づくりをする必要がある。	1 少子化傾向であるが、学校の魅力化を進めることで他地域からの呼び込みを行い、学校存続を図っていく。 2 学校運営に対する地域の方々の協力体制について、亀岡地区コミュニティを地盤としながら菊間地区との再編を行い、地域と一体になった学校を整えることで、児童や保護者、教職員の負担を軽減し、持続可能な学校づくりをする必要がある。 これまでのご意見 地域コミュニティ行事に学校が組み込まれており、学校整備や学校行事に地域住民が参加する土壌が作られている。	③どのような魅力化・特色化を進めるか？ ↓ これまでのご意見 ●お供馬など地域文化を活用する。 ●現在、小中連携事業はあまりないが、今後、他の中学校に流れないように魅力づくりをしてほしい。 〔今後、菊間ならではの魅力づくりを進めて参ります。〕 ④菊間小学校で、亀岡が維持してきた地域の協力を維持できるか？ ⑤学校統合に合わせ、菊間、亀岡の地域行事を統合するか？ ↓ これまでのご意見 ●菊間小学校PTAで対応可能な限りはPTAでの努力を続けたい。（その意思がある。） ●将来、PTA活動が続けられなくなる可能性もある。一人の力でなく、保護者が協力し合うことが大事だ。 ●学校管理や行事を維持していくには地域の協力が必要だ。 ●保護者や地域の方々が協力し合って活動する姿を見るのも子どもたちにとっての勉強になる。 ●運動会、運動場の清掃作業、盆踊り、文化祭等、地域行事を小学校・保育所・地域が協力して行っているが、統合後も菊間全域で同じような協力体制を築けるか不安。 ●施設管理について、地域の協力が得られない時は、市が業者委託などの支援をしてくれるのか？ ●統合をきっかけに両地区の慣習をアップデートすることも大事だ。 ●運動会、夏祭り、文化祭など両地区で似た取組は、この機会に統合させるのはどうか。 〔統合後、小学校を盛り上げるために両地区で様々な準備が必要です。教育委員会も積極的に関わって参ります。〕

学校生活			⑨子どもたちの学校生活について、市や教育委員会にどのような要望を出すか。また、地域でどのような取組をしていくか。 ↓ これまでのご意見 ●遠距離通学児童が、登下校により学校生活に制限がかからないよう配慮してほしい。 ●子どもの行動範囲が広がることで、こどもだけで移動する際の危険性 ●制服をどうするのか。（亀小Pアンケート） ●児童館、児童クラブは利用しやすい環境で設置してほしい。 ●各地区の児童館を必ず残してほしい。通学バスの最終地点にしてほしい。 ●軽度の発達障害のある子どもが気軽に利用できる支援級の体制を作してほしい。 ●廃校した地区の住民と児童生徒とのつながり、地域との交流の継続 ●保育所から菊間中学校まで、ほぼ顔ぶれが変わらないのは、年頃の子どもにとって辛いと思うが、何か対策や考えはあるか？ 狭い世界しか知らず、いじめなどがあった場合、不登校などリスクがある。 ●統合後の学校は柔軟な運営がしやすいよう、特例的に許可出せるものは積極的に検討をお願いしたい。 〔統合に伴う様々な課題は準備会を通じてひとつひとつ丁寧に対応して参ります。〕
地域づくり	1 施設が広い これまでの意見 ●学校施設の余剰部分を、高齢者施設などに活用できる。 ●地域の合同運動会などを広い運動場で行える。 ●広い運動場の一部を使ってお供馬を活用した学校の魅力づくりをするのはどうか。 2 菊間支所に近い これまでのご意見： ●地域活性化の拠点として、利便性がよい。 ●町の中心地である。 【参考】 （愛馬会副会長・NPO法人菊間会代表の意見） 馬がいる学校はいいが、小学校でお供馬のような大きい馬を世話するのは難しい。新潟の栗島の学校は小さい馬であり、近くに牧場がある。いつも大人がついているわけにはいかないと思う。中学校などでは、飼うこともできる。中学校は総合的な学習で馬の世話もしている。小学校は、今作っている「ふれあい体験」でお供馬の勉強もしている。今の形でいいと思う。愛馬会では、10年先のことを考えて、馬のセラピー等に取り組んでいる。将来のお供馬の事をいろいろと考えて、その他も、取り組みを考えている。学校統合も、しっかり将来のこと、先のことを考えて、いろいろなことに取り組んでほしい。	1 菊間、亀岡両地区に学校が残る これまでの意見 ●両地区に子どもがいる（地域拠点となる学校がある）ことで、コミュニティ活動を継続できる。地域格差なく町おこしも展開できる。 ●学校は地域の避難所や伝統ある祭りや文化祭など、コミュニティの核として機能している側面があり、各地区に学校という存在は必要不可欠、地域も子どもたちのためにと活性化や整備への意欲が衰えず、継続できている。 ●地域のバランスを考えてほしい。菊間には中学校、亀岡には小学校という教育拠点があることで、それぞれが地域の交流、防災、子育て支援など多様な役割を担っているのではないかと。（委員以外の意見）	⑩閉校となる地区の地域コミュニティ活動を継続できるか？ ↓ これまでのご意見 ●亀岡から公民館も学校もなくなると、地域活動が難しくなる。コミュニティの場所や災害時の避難場所として、学校が機能できるよう配慮してほしい。（市への要望） ●小学校統合には賛同する。しかし、亀岡地区の公民館活動としては、一部で、「菊間小学校に統合すれば、夏の盆踊り大会、秋の大運動会、冬の学習発表会等の休止はやむを得ない。地域コミュニティ活動の内容縮小もありうる。」という意見もある。2校の新旧・耐震性及び各施設の今後の維持管理等々を熟慮され、同協議会の熟考に期待したい。（壮年会意見） （再掲）⑤学校統合に合わせ、菊間、亀岡の地域行事を統合するか？ ↓ これまでのご意見 ●統合をきっかけに両地区の慣習をアップデートすることも大事だ。 ●運動会、夏祭り、文化祭など両地区で似た取組は、この機会に統合させるのはどうか。 ⑪菊間小学校で複合施設を考えるか？ ↓ これまでのご意見 ●学校施設の余剰部分を、高齢者施設などに活用できる。 ●菊間町内で小学校内に複合施設は向いてなく、市内の住民数がある小学校地区で進めるべきだと思う。それより、空き地や空き家の見直し、道路整備、スーパーマーケットなどの見直しや増設など、住民の衣食住を整えることで地域活性化を考えてほしい。菊間町内で衣食住への底上げができると住民数の推移もあがり、今治市全体の底上げにも繋がる。松山市に近い地域として町おこしも企画してほしい。 ⑫その他、地域づくりのことで市や教育委員会にどのような要望を出すか？ ↓ これまでのご意見 ●過疎地域対策の強化 ●日用品の買い物も町内で完結しない。外食産業もなく、若い人がUターン/ターンを考えられない。せめてドラッグストアなど誘致できないか。生活の改善から、若い人・子どもを増やす方向につなげたい。 ●地域住民が利用しやすい廃校の利活用（もともとコミュニティの中心であるため）

統合直後のこと	●統合直後、こどもの心理不安への対応（交流、丁寧な対話） ●統合前の先生の配置、適切な引継ぎの保障 ●規模が変わっても必要な子どもに丁寧な配慮を行う体制をとってほしい。 ●統合後に出てきた問題や改善点について早急に対応できるようにしてほしい。 ●住民説明はするか ●保護者説明のときに、適切な対応をしてほしい。 ●地域、保護者にわだかまりがないようにしたい。 ●現役の保護者の意見を大事に吸い上げて、より良い統合になるように願う。
目指す学校像	●多くの人と関わり、人間的に成長できる ●安心安全に通学し、安全な施設環境が整っている ●災害時に子どもの命が守られる ●地域で見守り、交流し、子どもの郷土愛が育つ ●信頼できる大人たちに囲まれている/相談できる先生がいる ●教職員がゆとりをもって子どもに関われる/子どもの不安に寄り添える教職員配置 ●統廃合を繰り返さず、将来にわたって安定した学校運営ができる ●生き生きとして毎日楽しく元気に学校生活が送れる ●学習能力の向上の取り組み ●少数ながら他の学校にはない特色を持つ、恵まれた環境でのびのび育つ ●自分が挑戦したい、やってみたいと興味があるものごとに挑戦できる環境があること ●遊具や備品が常に整っている ●保護者同士、学校と家庭、地域との関係が良好である ●1学級20人以上、2クラス。せめて複式学級はなくしたい
その他	●今後、さらに広い範囲で統合が必要になるかもしれない。今の段階から、短期的でなく長期的に広域統合を検討してほしい。 ●大西小、中学校と統合してはどうか。 ●10年後まで小学校が存続できるのか？ 地域住民や保護者にとって丁寧な説明が必要となる